

小学校の水筒持ち込み 期間を延長してほしい

教育委員会や小学校と話し合いを重ね、
新曽小学校、南小学校等で持ち込み
期間が延長されました。



公園の遊具が 壊れていて危ない

針金が飛び出し危険であり、
早急に修繕されました。



オリンピック通りの 交差点が危ない

視界が遮られている交差点に、新たに
カーブミラーが設置されました。



戸田東中通りを 通る道が危ない

新たに周辺一帯の路側帯や
停止補助線が白く塗られ、「止まれ」の
標示がされました。



バイクが 放置されていて危ない

市と警察とが管轄違いを主張し、
対応がストップしていましたが、
市の保管倉庫に移動されました。



新しいマンションが 町会未加入のため、 市広報が届かない

新たに500部増刷し、
マンション内に全戸配布される
ことになりました。



みなさんの声をカタチに!

日々多くの方からご意見をいただき、
一つひとつに向き合っています。小さな変化を積み重ねて、
住みよい戸田をつくってまいります。

壊れたポールに 吸い殻がたまっている

子どもの目の高さにあり危険のため、
早急に清掃・修繕されました。



親猫とはぐれた 子猫を助けて

地域猫活動団体にご相談し、里親会へ
新しい里親を探しました。



「みなさんの声を届けたい」と4年間、市政報告会、
お茶会、声ハガキ配布等を行いました。ここでいた
だいたご意見を一つひとつをカタチにしてきました。

第15回 市政報告会 ～1期4年間の実績検討会～
12月18日(日) 14時30分～16時00分
文化会館3階301会議室

市政報告会

全15回、毎議会ごとに開催。



お茶会

全12回、月1回程度開催。



声ハガキ

4年間で200日程駅頭で配布しました。



紙面に載せられない活動はホームページに掲載しています。合わせてご覧ください。

この桃子

検索

この × すがわら対談



この：日本は今、明治維新、戦後に続く、「第三の転機」と言われています。私は4年間、市議会議員として活動するなかで、待機児童、高齢者の医療介護、首都直下型地震等、山積する社会問題は暮らしに一番身近な市町村にこそ解決の糸口があり、その担い手は私たち地方議員だと手応えを感じています。

すがわら：国と地方は「分権」から「創生」の時代となり、今後ますます首長や議会のイニシア

チブが街の将来を決めます。だからこそ、私たちは10年先、30年先にも責任を担う行動をしなければなりません。将来を見据えた明確なビジョンと政策を実現する行動力が大切です。

この：戸田市はこどものいるファミリー層が増えると同時に、急速な高齢化も進みます。今後の人口動態をしっかりと把握しその需要予測に沿った対策が求められます。保育サービスは保育士処遇改善を含め計画的に拡大すべきですし、地域と連携した地域包括ケアシステムの構築を進めなければなりません。同時に、責任ある議論のために徹底した行財政改革も必要不可欠です。

すがわら：市政の課題は県政の課題です。県の豊富な統

計資料や他市との比較は戸田市に役立ちます。県と市とで活動する場は違っても、課題を共有し力を合わせることで大きな成果を得ることができるはずです。

この：私は、育てていただいた戸田を「やさしくあかるいまち」にしたいです。これからも「やりきる力」で一生懸命頑張ります。

すがわら：議会での粘り強い議論構成による政策実現力はもちろんですが、こののさんには一人ひとりに丁寧に接し声なき声を聴く優しさや正義感、現場主義で取り組む行動力と責任感が人一倍あります。戸田市の明るい未来のために奮闘を期待しています。



後援会討議資料

やさしく、あかるい戸田へ

こんにちは、このの桃子です。
「若い世代もまちづくりに参加したい」と市政を志し、みなさんのお力で市議会へ送り出してもらいました。

市議会議員として活動するなかで、私は戸田市の大きな可能性を感じています。育てていただいたまちに感謝し、これからは自分たちがまちをつかっていくという責任の思いで、一生懸命働いてまいります。



戸田市議会議員
無所属・1期目

このの桃子



私が大切にしている3つのこと

① 未来を見据えて政策を進めること

政治に期待されることは「政策の実行力」です。すべての議会で提言を重ね、成果につなげてきました。市政の課題を考え、国・県の動きや社会情勢をとらえ、未来のための政策を進めます。



② 活動の見える化をすること

政治への信頼は「活動が見えること」に基づきます。ほぼ毎日、ホームページやSNSで活動を報告し、すべての議会でレポートを作り、駅頭活動と市政報告会を行いました。これからも活動の見える化を続けます。



③ 優しく公平公正であること

政治は「弱い立場に寄り添うもの」というのが私の信条です。議会の本質は多様性にあると考え、声なき声、小さな気づきを市政に届けてきました。これからも嘘を言わず、公平公正な議員でありたいと思います。



プロフィール

1983年3月2日生(33歳)。新曽小学校卒業、頌栄女子学院中学校・高等学校卒業、慶應義塾大学卒業、慶應義塾大学大学院法務研究科修了(法務博士(専門職))、元内閣府非常勤職員、元国会議員公設秘書、中央省庁や国会で働く中で、地方政治の大切さを実感し、地元市政へのチャレンジを決意。平成25年、3,148票(新人歴代最多得票)を賜り初当選。1期目、無所属、会派「戸田の会」。

このの桃子後援会事務所

〒335-0022 戸田市上戸田2-46-9-101
TEL:048-235-5358
ホームページ <http://konnomomoko.com/>
メール info@konnomomoko.com



やさしく、あかるい戸田へ

4年間でできたことと
これから進めることを
お伝えします！



こども子育て

こどもがのびのび育つまちへ

戸田市は若い世代を中心に、全国第7位の割合で住民が増えています。「子育て日本一のまち」を目指し、保育園・学童保育室、子育てサービス、学校教育等、未来を担うこどものための政策は最優先課題です。

できたこと

- 国・県の補助金(約1,800万円)を獲得し、民間学童の新設を実現(H29年4月開所予定)
- 一時保育の拡大、「利用手帳」の導入、一時保育実施園の一覧表・利用案内作成を実現
- 保育士就職支援給付金、宿舍借上支援金を実現(待機児童緊急対策アクションプラン)
- 保育園新設にあたり地域の方の要望を取り入れた形で建設を実現(H29年4月開所予定)
- 保育園でのアレルギーガイドラインの見直し、研修会実施、エビベン*預かりを実現
- ひとり親の保育料、幼稚園料、学童保育料等の寡婦控除みなし適用を実現(約40万円)
- 閉鎖中のこどもの国学童保育室を開放、その後待機児童のいる戸一小に利用拡大を実現
- 市内学童保育室間の意見交換会を実現
- こどもの国のプールに整理券導入を実現
- 小学校での水筒持ち込み期間延長を実現
- こどもの自転車保険の加入促進を実現
- いじめ問題調査委員会の非公開等を指摘し、その後文科省の指導も受け、指摘通り条例改正

*エビベン…アナフィラキシーショックを緩和する自己注射薬

進めること

国・県の補助金獲得や保育士処遇改善により保育園・学童保育室の待機児童ゼロ実現を進めます。子育てサービスを利用者目線で充実させ、「地域で子育てできるまち」を目指します。



民間学童保育室を新設
(国・県補助金 約1,800万円を獲得)

地域環境

ごみゼロ、殺処分ゼロのまちへ

戸田市は約18km²の広さに、荒川・彩湖の自然、マンション・戸建ての住宅街、工場・倉庫の工業地のあるコンパクトシティです。戸田市の特徴を最大限活かし、そこに住む人々が地域を愛し、大切に作る仕組みづくりを進めます。

できたこと

- 3駅を喫煙制限区域に指定、啓発員巡回、大型看板設置、チラシ全戸配布を実現(約920万円)
- 企業のCSRによるごみゼロ運動を支援
- 外国人向けゴミ出しチラシ等の公開を実現
- 県補助金(約120万円)を獲得し、地域猫活動や里親会を支援
- 町会未加入マンションの自治会設立を支援
- 公園再整備にマンション住民の参加を実現

*CSR…企業の社会的責任を果たす取り組み

進めること

受動喫煙対策、環境美化活動、動物愛護に力を入れ、「ごみゼロ・殺処分ゼロ」を目指します。また、町会・自治会加入を促進し、「地域力」を高めます。



喫煙制限区域指定、啓発員を実現
(基金 約920万円を活用)



健康福祉

自分らしく生きるまちへ

戸田市は平均年齢が40.1歳と県内一若いにもかかわらず、健康寿命*は県内最下位です。また、全国10位のスピードで高齢化も進んでいます。若者もお年寄りも障がいのある方も、いつまでも元気に住み慣れた地域で暮らせるまちづくりが必要です。

*健康寿命…介護を必要としないで生活できる年数

できたこと

- 県補助金(約1,600万円)を獲得し、24時間の看護師等による訪問介護・看護サービスを実現
- 市民医療センター等の公共施設内に耳の不自由な方のための「耳マーク」導入を実現
- 妊婦の感染症対策の保健ガイド掲載を実現
- 蕨戸田歯科医師会と連携し「歯科口腔保健の推進条例」を制定(健康福祉常任委員会)
- 生活保護受給の障がい者が障害年金取得の際、社労士費用を経費認定し、生活保護からの自立を促進
- 女性特有のがん検診のPR強化を実現

進めること

母子保健の充実、受診しやすい検診体制、地域包括ケアシステムの構築、障がいのある方の自立等を進め、「住み慣れた地域で元気に過ごせるまち」をつくります。



24時間訪問介護・看護サービスを実現
(県補助金 約1,600万円を獲得)



市民参加情報公開

みんなでつくるまちへ

「地方自治は民主主義の学校」と言われます。市民参加は、適切な情報提供と意見陳述の機会が大前提です。「協働」のまちづくりを掲げる自治基本条例が制定された今、住民の本意にそったまちづくりができるか真価が問われています。

できたこと

- 子ども子育て会議の保護者インタビュー(土日・託児付)を実現
- 全公共施設の利用料金の一覧表作成、受益者負担見直し方針の公開、市民を含めた検討委員会設置と市民公開講座を実現
- ファシリティ・マネジメント(公共施設の効率化)の市民公開講座を実現
- 監査報告、都市計画審議会議事録、上下水道事業包括委託契約等の資料の公開を実現
- 市民会議参加等での一時保育利用を実現

進めること

市民参加と情報公開の原則化を進めます。また、協働のまちづくりのため、私自身も駅頭活動と市政報告会、学生インターン受入れ、投票率アップキャンペーン(会派)も続けます。

くらし安全

安心して暮らせるまちへ

戸田市の犯罪率は県内ワースト10位、子どもや女性が被害に遭う事件も発生しています。また、震災に加え水害対策も急務です。避難所収容者数は人口の約1割。在宅避難等都市特有の防災対策が必須です。

できたこと

- マンション防災の冊子作成を実現(会派)
- 道路灯・防犯灯の情報一元化を実現
- 駅前不法駐輪の見回り強化を実現
- 新曽南交差点の歩行者信号設置の要望書を提出
- 新曽中央地区まちづくりでの生活道路沿いのセットバック義務の除外を実現
- 立地適正化計画において住工混在問題の検討開始を実現

進めること

通学路や公園等の防犯カメラ設置、地域と連携した見回り強化、在宅避難対策等、「自助・共助・公助」のまちづくりを進めます。



マンションの防災対策を強化
(ハザードブック別冊版「マンション防災」を作成)



福祉サービスの適正化を実現
(約1.2億円の削減効果)

行政・議会改革

ムダのない開かれた市政へ

戸田市の財政力は県内1位、県では唯一国からの地方交付税を受けていない不交付団体です。しかし、戸田競艇の配分金も全盛期の約15分の1、人口も増え社会保障費が急増しています。行政も議会も、改革の歩みを止めてはいけません。

できたこと

- 福祉サービスにガイドラインを導入し、適正化を実現(約3億円→約1.8億円)
- 各部署の「事業計画」の一元化と公開を実現
- 行政情報のオープンデータ特設ページを開設
- 企業撤退対策に固定資産税補助拡大の検討
- テレワーク(多様な働き方)見学会を実施
- 子ども連れ傍聴、女性議員の産休導入を実現
- 議案書等のインターネット公開、本会議での貸し出しを実現
- 市内高校生による初の「高校生議会」を開催

進めること

企業撤退対策、企業誘致、ムダ削減を徹底し、安定した財源を生み出します。また、議員定数・報酬見直し、費用弁償実質化、海外派遣見直し等の「身を切る改革」を進めます。



子育て政策に当事者の声を反映
(条例化改正も含めて検討中)

私が子どもだったころの戸田は、田んぼや畑の広がるのどかなまちでした。いまや、戸田市はファミリー層を中心に人口が増え、同時に急速に高齢化も進みます。50年、100年先のこのまちの未来を考え、今から実効性ある政策を進めていかなければなりません。

